

令和4年9月三田市議会定例会(第367回)一般質問発言通告一覧
(第4日・9月8日 個人質問)

3番 木村 雅人 <一問一答>

- 1 三田市民病院の統廃合について
 - (1) 市民病院を市内からなくすこと、三田市民の税金で神戸市北区に新病院を建設し運営することについて。
 - (2) 市民の合意なしに統廃合を進めることについて。
 - (3) 三者協議(三田市、神戸市、済生会兵庫県病院)の記録について。
 - (4) 医師確保の問題について。
 - (5) 済生会兵庫県病院への指定管理者制度について。
 - (6) 財政負担について。

17番 美藤 和広 <一問一答>

- 1 北神・三田地域医療の課題について
 - (1) 三田市民病院の存続の可能性。
 - (2) 再編統合による新病院の課題。
 - (3) 救急医療としての課題。
 - (4) 交通アクセスの課題。
 - (5) 現病院の活用。
- 2 障害者スポーツの意義と推進について
 - (1) 障害者スポーツの意義。
 - (2) スマイルピックなどの事業廃止の経過と今後の方針。
 - (3) 地域で支えるスポーツ。
 - (4) (仮称)三田市障害者スポーツ協会の設立。
- 3 三田市におけるGIGAスクール構想の課題と活用について
 - (1) GIGAスクールの現状と課題。
 - (2) タブレットパソコンの活用。
 - (3) 活用事例「こころの相談ノート」。

2番 水元 サユミ <一問一答>

- 1 幼稚園と学校が果たす役割について
 - (1) 幼稚園の再編統合について。
 - (2) 小中学校の再編統合について。
 - (3) 学校の教職員数について。
- 2 市民の暮らしを守ることにについて
 - (1) 国民健康保険税の減免制度について。
 - (2) 持続化給付金や時間短縮協力金等が事業所得に含まれることで、その後、特に中小事業主の国民健康保険税の負担が重くなっていることへの対応について。

13番 長尾 明憲 <一問一答>

1 子どもの医療費無償化について

(1) 東京 23 区では高校生までの医療費を所得制限なしで完全無償化することが明らかになった。三田市においてもせめて中学生までを所得制限なしの無償化に戻すべきであるとするが市の見解を伺う。

2 市職員について

(1) 47%もある市職員の非正規率を引き下げることについて。

(2) デジタル化に対応するためにも職員の IT スキル育成が欠かせないとするが、市の見解を伺う。

3 新型コロナウイルス感染症軽症者に対応した PCR 検査センターの設置について

(1) 大規模な感染拡大を受け、県に軽症者を対象とした PCR 検査センターの設置を求めるべきであるとする。また市独自でも設置の検討ができないか市の見解を伺う。

11番 肥後 淳三 <一問一答>

1 資源物の持ち去り対応等について

(1) 市の資源物持ち去りに対するこれまでの対応と資源物持ち去り禁止条例の制定について。

2 蛍光管等の回収政策について

(1) 蛍光管等の水銀ごみ回収拠点 11 か所では少なすぎます。身近な自治区や自治会の会館等を回収拠点に位置付けできないでしょうか。

(2) 市の組織を上げて回収率を向上させる取組について、組織の垣根を取り払い、蛍光管等の回収にゼロカーボンシティ推進室だけではなく、まちの再生部内や他部局の協力を仰ぐ取組みができないでしょうか。

(3) 筒型乾電池の回収における周知方法について。

3 バス停留所の位置変更等交通政策について

(1) センチュリープラザ前下り側バス停留所の位置変更に伴う渋滞緩和政策について。

(2) フラワータウンセンターの乗車口を駅ビル前に移設しユニバーサルな動線にする調査研究について。

(3) ゆりのき台 4 丁目バス停留所へのバスシェルター設置について。

4 地震時における家具転倒防止器具の設置について

(1) 家具転倒防止器具設置の普及率について。

(2) 家具転倒防止器具の設置を市民グループや企業に委ねる政策の検討について。

22番 厚地 弘行 <一問一答>

1 市民病院の再編統合案について

(1) 統合後の病院の候補地としてなぜ神戸市側になったのか。

(2) 市民からは統合の反対の声も聞くが、その異論はなぜ出ると考えているか。今後市民の理解は得られるか。

(3) 交通のアクセスは市民の理解を得るためにもたいへん重要である。現在のアクセスは最低限守りつつそれ以上の利便性が必要である。乗り換えのないコミュニティバスなども検討すべきと考えるがどうか。

2 子供の視力低下について

(1) 近年子供の視力低下が著しい。タブレットや IT 教育を推進することでこれからはさらに視力の

低下が進むと考えられる。目の病気は悪くすれば将来失明する心配もでてくる。今のうちに目に負担をかけない対策が必要であると考えます。

3 職員の職員によるグッドジョブ制度について

- (1) 職員のやる気と能力向上のために、職員が互選するグッドジョブ制度の導入を検討してはどうか。人事評価ではマイナス評価のイメージがあり不満をもつ職員もいる。グッドジョブ制度は良い仕事をしたと思う人にメダルを進呈するプラス志向であり、人事評価とは別に表彰を行うことができる。